

小島敏郎氏等を参考人承知する動議について

更なる調査、審議を深めたいという動議の趣旨は理解するものの、来年度予算を審議するにあたっては、代表質問、一般質問、予算特別委員会、本委員会における質疑を通じて、賛否の判断をするに足る審議があったと考えるものです。

今般の参考人承知における中心人物は、元市場問題プロジェクトチームの座長を務めておられました小島敏郎氏といえます。小島氏は、現在都民ファーストの会東京都議団の事務総長を務めておりますが、その都民ファーストの会東京都議団より、小島氏の考えについて、先日、記者会見がありました。

その内容を読み上げますと、「PT時代の小島座長は、PTにおける報告を詳細に相当な分量を、東京都に対し、また知事に対し、上げています。そこに書かれていることに対して、私どもの知る限り、小島総長の考えは一貫しているのでブレはありません。もし、だました、あるいはだまされたという認識を持たれる方には、そこは任命権者である小池知事に対し、その責任を追及するのが筋であろうと思います。」とのことでした。

この言葉を信じるならば、現在組織の一員である小島氏の考えならびに責任の所在については、組織を通じて公式に見解が出されていますので、これ以上この場で議論をしても、調査・審議は深まらないものと判断いたします。

であるならば、小島氏を招致することは適当ではなく、小池知事を招致すべきとの議論に戻ってしまうことと思われれます。しかし、私どもは、経済港湾委員会における小池知事との一問一答を通じて、一定の理解と納得をしたことから、補正予算にも賛成をしたところであり、本定例会において更なる質疑を求めるものではありません。

最後に、今後豊洲市場をはじめとする11の市場をいかにして活性化させていくのかという議論においては、今般議題にあがりました方々をはじめ、様々なステークホルダーのご意見に真摯に耳を傾けていただくことを要望いたします。